



オンラインセミナー「太平洋北極圏における持続可能なクルーズ産業の発展 —過去の発展と将来の展望—第2弾」

- 日時:** 2022年3月9日(水) 15:00–17:50 (日本時間) / 9:00–11:50 (モスクワ時間)
- 開催形式:** オンライン(Zoom)
- 主催:** 北海道大学 (北極域研究センター (北極域研究共同推進拠点(J-ARC Net)、北極域研究加速プロジェクト(ArCS) II)、日露経済協力・人的交流に資する人材育成プラットフォーム (HaRP))
- 共催:** ロシア極東北極圏開発機構、ハバロフスク国立経済法科大学(KSUEL)、北極圏大学(UArctic)アジアにおける北極圏・北極圏におけるアジア分科会(UArctic Thematic Network on the Arctic in Asia, Asia in the Arctic)
- 対象者:** ロシア、日本、(東アジア諸国を含む)その他の非北極圏諸国の研究者、学生、実務者
- 言語:** 日本語/英語/ロシア語(同時通訳)

概要

このセミナーは、北海道、極東北極圏ロシア、オホーツク海・北太平洋・ベーリング海・チュクチ海などの陸海域での経済的、環境的、社会的に持続可能で責任あるクルーズ観光に関心のある研究機関、行政機関、民間企業、NGO 関係者を対象とするものです。

第一部は、クルーズ産業の発展に影響を与える各国及び国際的な規則・基準・ガイドラインと人材育成に焦点を当てます。第二部は自由討議の時間とし、参加者に12月と3月のオンラインセミナーの結果を振り返って各自の見解やアイデアを交換する時間を設けます。さらに、参加者に両セミナーのテーマに関連する各自の事業やイベント、提案を紹介していただくことも可能です。

このセミナーの狙いは、新しい知識の創出とネットワーキングです。すなわち、参加者各自の知識と経験を共有し、更なる分析を要する主要な課題と展望を確認するとともに、他国のア

クターと交流する場となることが期待されます。

このイベントは、HaRP の専門セッション「SDGs:環境・資源開発・多文化教育」、北極域研究加速プロジェクト(ArCS II)(特に研究プログラム「複雑化する北極域政治の総合的解明と日本の北極政策への貢献」およびそのサブグループ 4「非国家主体とパラディプロマシー」と共同で開催された以下の一連のセミナーに続くものです。

1. セミナー1「マルチレベルガバナンスと地域間協力:Vol.1 太平洋北極圏」2021年1月12日開催

<https://russia-platform.oia.hokudai.ac.jp/event/5485>

2. セミナー2「北極圏と北方圏における日露の地域間協力 – 理論と実践」、2021年3月3日開催

<https://russia-platform.oia.hokudai.ac.jp/report/6031>

3. セミナー3「(マルチレベルガバナンスと地域間協力:Vol.2 バレンツ地域)、2021年6月9日開催

<https://russia-platform.oia.hokudai.ac.jp/report/6446>

4. セミナー4「マルチレベルガバナンスと地域間協力:Vol.3 北極圏における持続可能な地域発展、国際協力、環境保護」2021年9月14日開催

<https://russia-platform.oia.hokudai.ac.jp/report/6865>

5. セミナー5「ロシア極東とアジア側の北極の発展に向けたアジア太平洋地域における越境地域間協力」、2021年10月18日開催

<https://russia-platform.oia.hokudai.ac.jp/report/7290>

6. セミナー6「太平洋北極圏における持続可能なクルーズ産業の発展:過去の発展と将来の展望 – 第1弾」、2021年12月8~9日開催

<https://russia-platform.oia.hokudai.ac.jp/report/7458>

申込方法: 3月1日(火)までに下記のURL(Google Form)よりお願いします。

<https://forms.gle/B8jqquyD9wJ4MDxx9>

問合せ先: ご不明な点がございましたら、北海道大学北極域研究センターまでお問い合わせください。

・サウナワーラ ユハ 助教

juha.saunavaara@arc.hokudai.ac.jp

・ロマーエヴァ マリーナ 国際・人材交流コーディネーター

m.v.lomaeva@arc.hokudai.ac.jp

プログラム案 (2022年2月24日現在)

3月9日(水)15:00~17:50(日本時間) / 9:00~11:50(モスクワ時間)

時間(日本)	プログラム
15:00-15:05	開会の挨拶: ユハ サウナワラ、マリーナ ロマーエヴァ(北海道大学北極域研究センター; 司会)
第1部 「各国及び国際的基準・ガイドラインと人材育成」 (80分)	
15:05-15:25	伊知地 亮 (ポナン、日本・韓国支社長/エクスペディションリーダー)「太平洋北極圏における持続可能なクルーズ産業に関する日本のガイドライン—ポナンの事例を中心に—」
15:25-15:45	オクサーナ レシコーヴァ(Oxana Leshkova) (ハバロフスク国立経済法科大学, Khabarovsk State University of Economics and Law)「ロシア極東における観光経営人材育成—旅行者と連携事例—」
15:45-16:05	ヴラジーミル シャーロフ(Vladimir Sharov) (ロシア国内及び訪日観光協会, Russian Association of Domestic and Incoming Tourism)「ロシア極東及び北極圏の持続可能なクルーズ観光に関する国内ガイドライン」 ヴィオレッタ チョールナヤ(Violetta Chernaya) (リヤザン国立医科大学, Ryazan State Medical University)「ロシア極東及び北極圏における観光発展と環境保護」
16:05-16:25	トロエルス ヤコブセン(Troels Jacobsen) (北極探検クルーズオペレーター協会, AECO, ノルウェー)、現地業務担当マネージャー)「北極圏における持続可能なクルーズ観光を目指して—AECOとクルーズ観光業者による基準、措置及び手段開発」
16:25-16:45	質疑応答(20分)
16:45-16:55	休憩(10分)
第2部 「振り返りと今後の計画」 (50分)	
16:55-17:45	自由討論—2021年12月と2022年3月9日のオンラインセミナーの結果の振り返り、意見・提案交換等— 両セミナーのテーマに関連する各自の事業やイベント、提案等を簡潔に(3分以内に)紹介できます。今後の計画(太平洋北極圏における持続可能なクルーズ産業に焦点を絞った学術雑誌の特集等)についても案内します。

	ザオストローフスキフ エレーナ(Zaostrovskikh Elena) (ロシア科学アカデミー極東支部経済研究所)「太平洋北極圏におけるクルーズ観光発展について」
17:45-17:50	閉会の挨拶: TBA(ロシア極東北極圏開発機構(FEDC)又はその連携機関)